

# 長島町体育協会剣道部の挑戦

## 競技者増へ頑張れ剣道部

少子化などの影響を受け、町内でスポーツを楽しむ子どもたちが減少しています。こんな中、長島町体育協会剣道部はさまざまな活動を展開して、競技人口を増やそうと頑張っています。

子どもたちの指導を手がけ、人間教育に取り組む剣道部の活動を追いました。

町内ではここ数年、剣道の競技人口が激減しています。汐見、蔵之元、川床、幣串などのスポーツ少年団がなくなり、長島、平尾、川床中学校の部活動も途絶えてしまいました。

鷹巣中学校剣道部は、出水・伊佐地区中学校総合剣道大会と県中学校剣道大会の優勝を目指し、「心を一つ」にして懸命に稽古に励んでいます。しかし、同部は両大会を終えて3年生部員5人が抜けること、2年生部員3人となり、先鋒から大將まで5人揃っての大会出場ができなくなりました。



「若者には負けん」と、毎日午後5時から7時まで2時間の稽古をなす濱部長

長島町体育協会剣道部長  
**濱 利範**さん（宮ノ浦）

### インタビュー

最近は車社会で、親が楽をしていると思います。子どもは小さいころからコツコツと努力を重ねることが大事です。剣道は人生の教育、人間形成の道です。自分のすべてを出し切ることができます。これからは楽をせず踏ん張って、現代社会に負けない人を育てないといけません。剣道部にはこれまで個人戦で全国へ行った人もいます。この経験は人間の財産となり、社会で貢献できる人に育ってくれます。子どもたちには汗をかいて、魂を修練してほしいです。まだまだ、自分自身も勉強です。

## 剣道は人間形成の道

まだまだ自分自身も勉強です

競技人口の減少には、少子化の影響がありますが、派手で、格好いい競技に選手が流れる傾向にもあります。「痛い」「きつい」は敬遠され、鍛錬が求められる競技は受け入れられなくなってきました。

このような状況を打開しようと長島町体育協会剣道部（濱利範部長）は、マンダリン旗争奪剣道大会の開催や早朝稽古、合同練習を重ねるなど、さまざまな取り組みを日々続けています。

毎週火・金曜日には、平尾中学校体育館で永田健太郎先生を中心

とした朝稽古、多目的ホール洗心館では、小学生が月・水・金曜日の夕方、中学生が月から金曜日の夕方と土曜日の午前中、濱部長や先輩たちの指導を受けて、活発に活動しています。

これまで、先輩たちの指導や熱意に支えられてきた鷹巣中学校剣道部キャプテンの石田愛莉さんは「苦しいときは仲間同士で励まし合っています。大会では長島の代表として精いっぱい頑張ります。地域の皆さんの応援をお願いします」と大会出場に張り切り、後輩の入部を心待ちにしています。